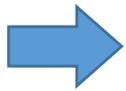


## 基本的な考え方に基づいた課題

- 出生前検査を受検する妊婦等への支援は、産婦人科専門医だけでなく、小児科専門医や臨床遺伝専門医をはじめとした各領域の専門医、助産師、保健師、看護師、心理職、認定遺伝カウンセラー、社会福祉関連職、ピアサポーターなど多職種連携により行う必要がある。
- 胎児に先天性疾患等が見つかった場合の妊婦等へのサポート体制として、各地域において医療、福祉、ピアサポート等による寄り添った支援体制の整備等を図る必要がある。



連携（組織間、職種間）と人材の育成を図る必要がある。

## これまでの対応

### 出生前検査認証制度等運営委員会・各学会

- 専門医・出生前コンサルト小児科医制度等
- 自治体チラシ・医療機関リーフレットマニュアルの作成
- 出生前検査認証制度等運営委員会ウェブサイトの作成

### 厚生労働省

- 母子保健指導者養成講習会
- 通知による運営委員会指針の周知
- 母子保健課調査

## 検討すべき対応策

### 調査

- 自治体と医療機関の連携について実態調査
- 自治体と医療機関、また職種間連携の好事例の収集

### 教育

- 支援者向け※の情報資材作成
- 支援者向けの研修

※基本的な考え方に記載されている多職種を指す